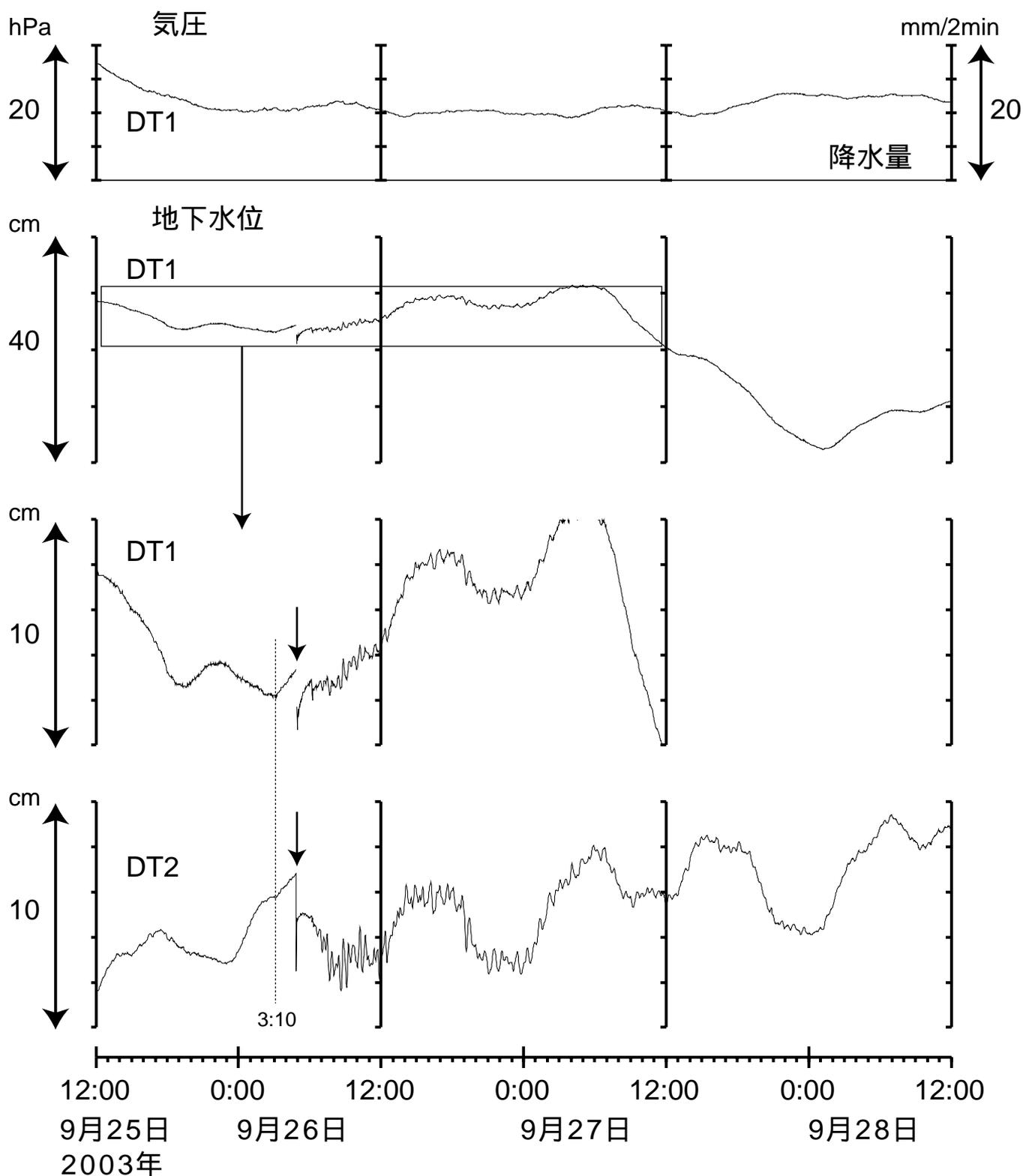
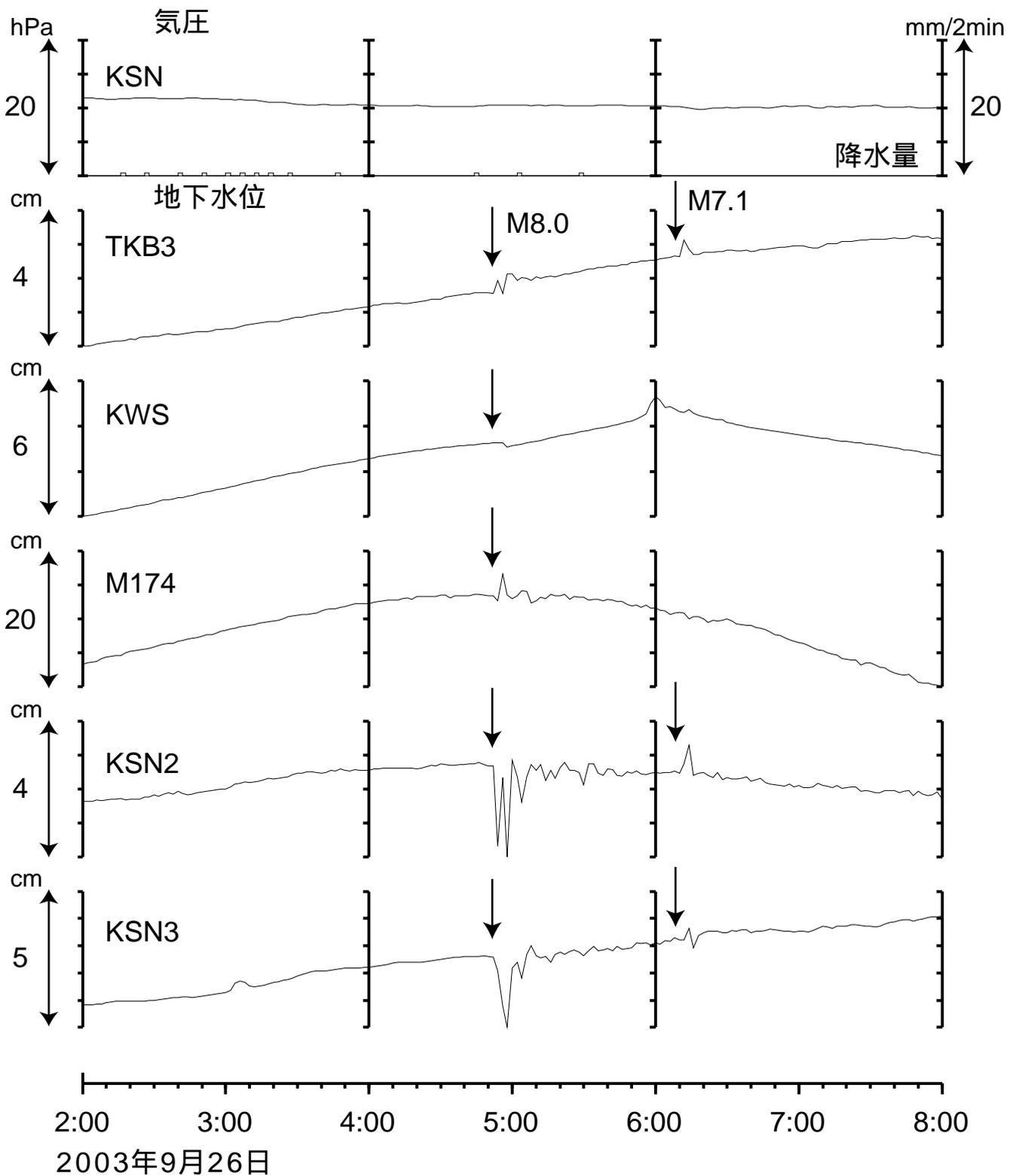


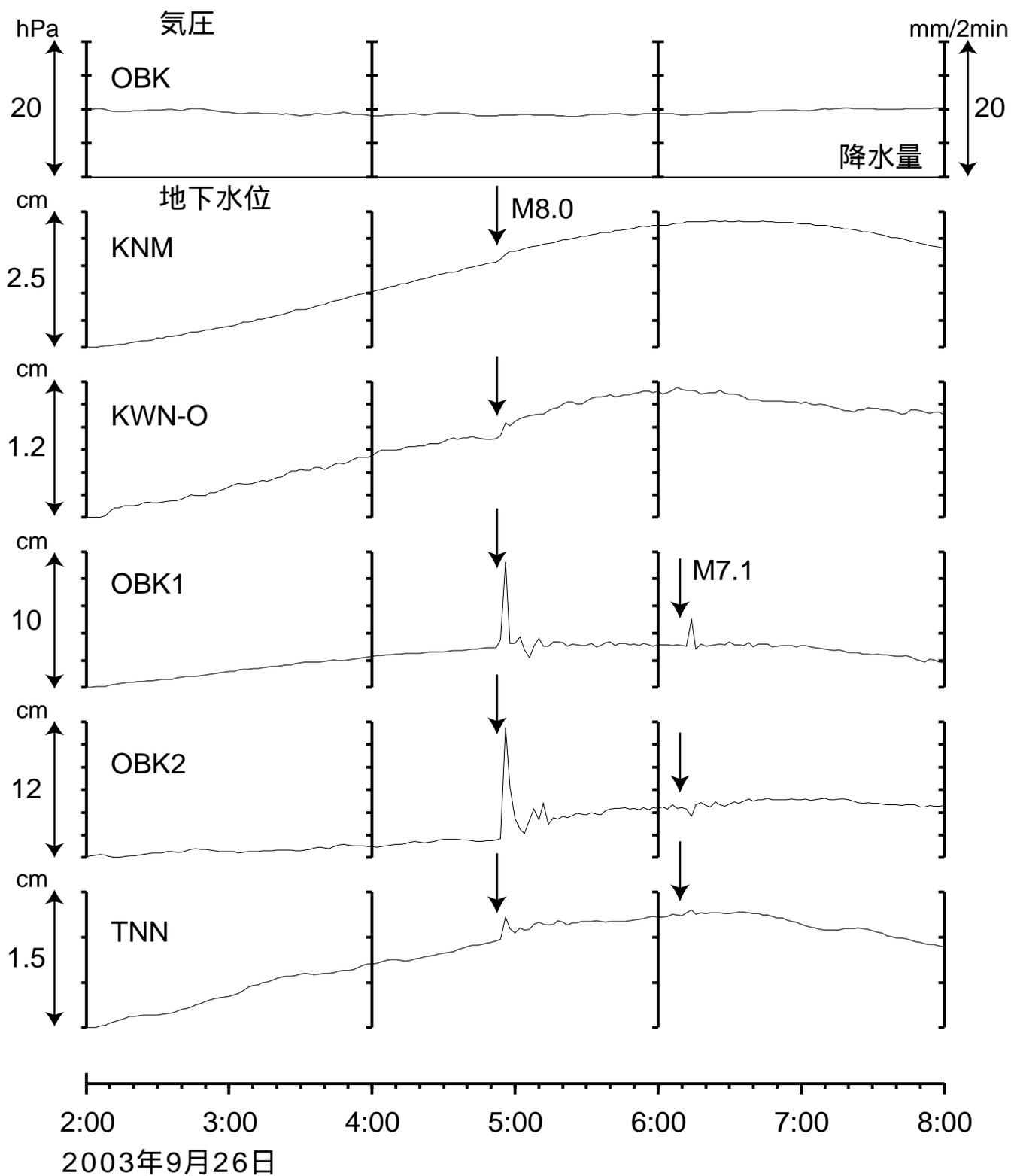
2003年十勝沖地震後に観測された水位および自噴量変化の分布。灰色の長方形は国土地理院によって推定された断層モデルを示し、等値線はこの断層モデルから予想される地震後の地殻歪変化の分布を示す。



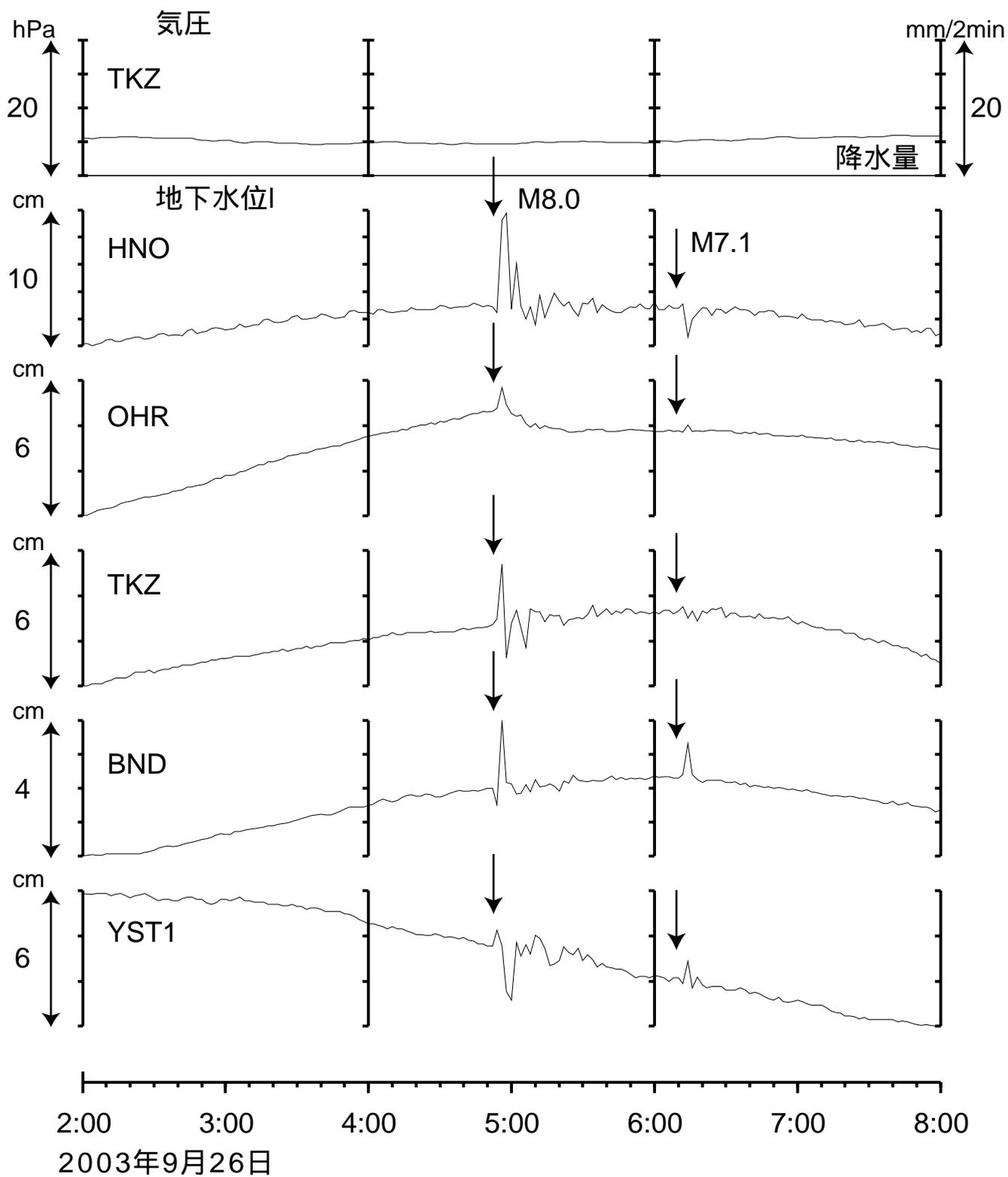
2003年十勝沖地震に伴うDT1およびDT2観測井の地下水位変化。地震の直後に水位が急激に低下した。その後、水位にはギザギザとした波のような振動が観測されており、津波の影響と考えられている。



2003年十勝沖地震に伴うTKB3、KWS、M174、KSN2、KSN3観測井の地下水位変化。4時50分の矢印は本震、6時8分の矢印は最大余震の発生時間を示す。

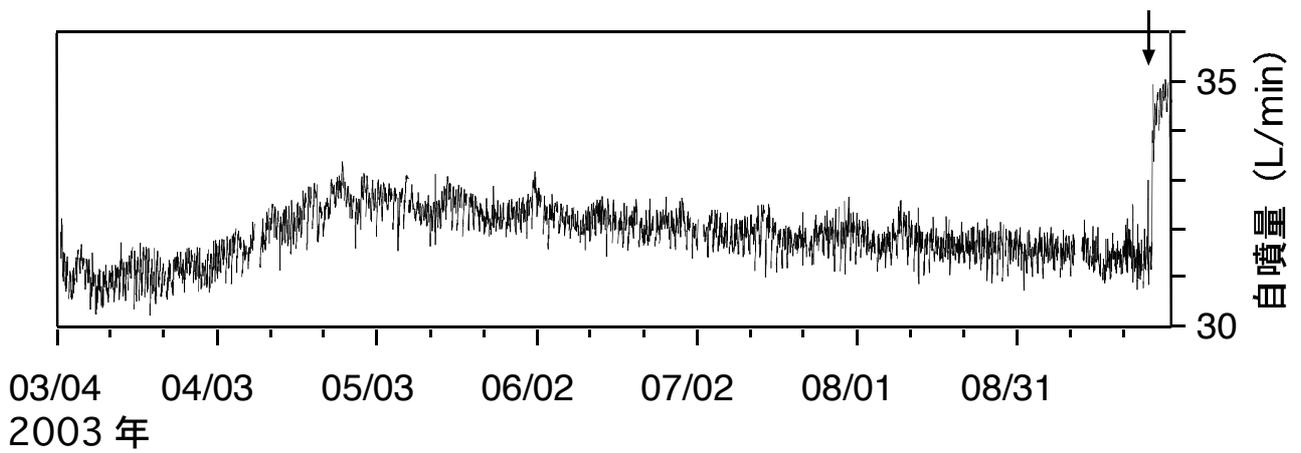


2003年十勝沖地震に伴うKNM、KWN-O、OBK1、OBK2、TNN観測井の地下水位変化。
 4時50分の矢印は本震、6時8分の矢印は最大余震の発生時間を示す。

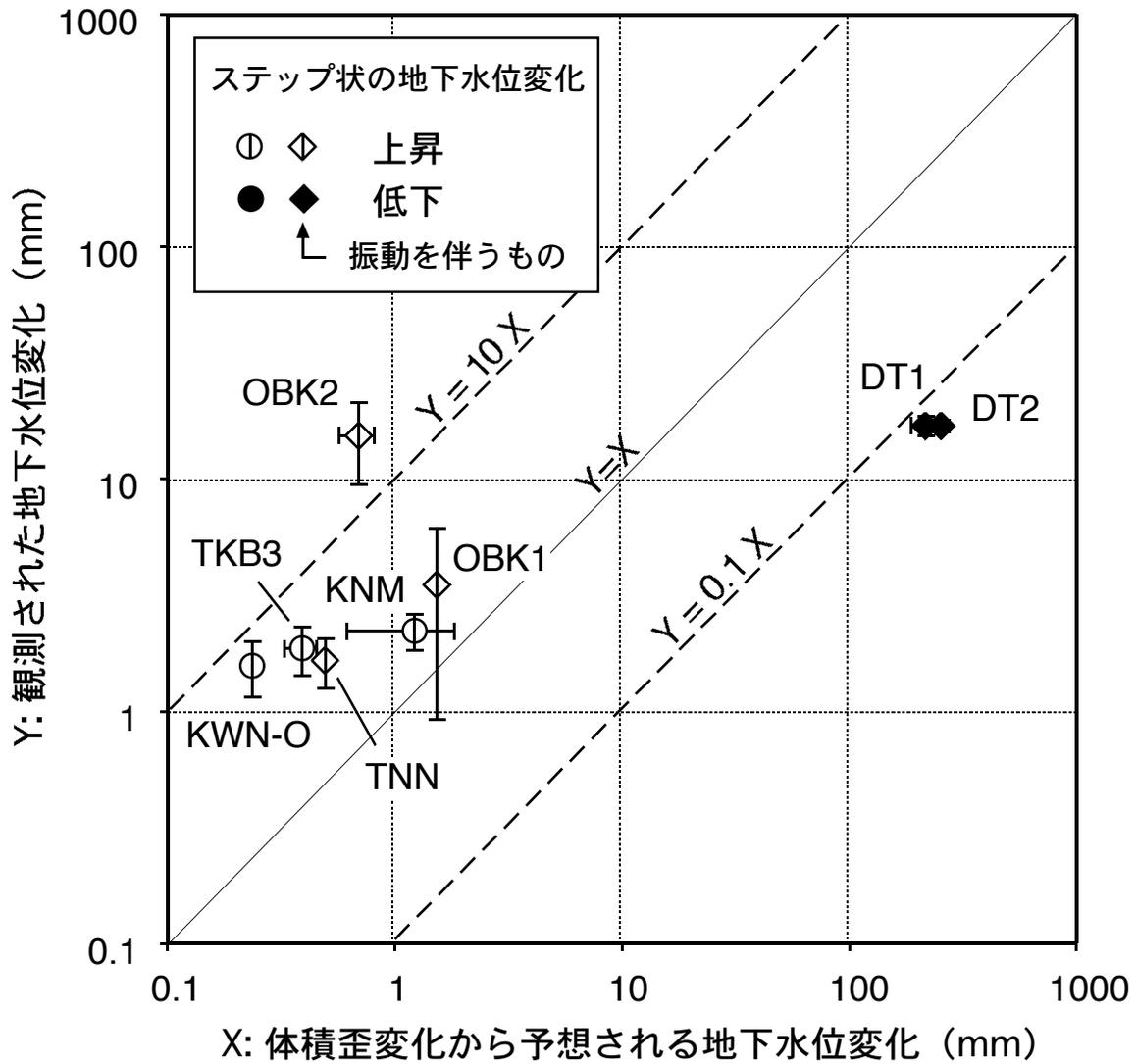


2003年十勝沖地震に伴うHNO、OHR、TKZ、BND、YST1観測井の地下水位変化。4時50分の矢印は本震、6時8分の矢印は最大余震の発生時間を示す。

2003年十勝沖地震



2003年十勝沖地震に伴うWARIISHI観測井における自噴量の変化



観測された地下水位変化量と体積歪変化から予想される地下水位変化量との比較